

長寿と健康を祝して「敬老会」を開催！

9月19日（土）、福島小学校体育館で敬老会が開催され、町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや、関係者等約500人が出席し長寿と健康を祝いました。

式典では横内副町長のあいさつの後、敬老会参加のご夫婦の代表2組に花束や記念品が贈られました。

また、米寿を迎えられた53名を代表して2名の方に花束とお祝いの品の贈呈に続いて、溝部議長がお祝いの言葉を述べられました。

アトラクションでは、松前神楽、白符荒馬踊、山村柏楓民謡連合会による舞踊・民謡が行われ、楽しいひとときを過ごしていました。



▲敬老会に参加した大勢の皆さん



▲敬老会参加代表者へ花束と記念品の贈呈



▲松前神楽（左）と白符荒馬踊（右）を敬老会へ参加の皆さんへ披露

福島中学校相撲部

12年ぶりの快挙！

第45回全国中学校相撲選手権大会（全国中体連）が8月22日（土）、23日（日）の両日、青森県十和田市で開催されました。

北海道代表の福島中学校チーム（佐藤正成君、菊池虎之介君、坂口颯君）は、初戦岡山県チームに2対1で勝利し、続く2回戦は大阪府チームに1対2、3回戦は、山形県チームに1対2で敗れるも、1勝4点で、予選の同点決勝に臨み、静岡県チームに2連勝で予選を通過しました。

この時点で平成13年の鳥取大会出場以来13年ぶりの成績となりました。

決勝トーナメント1回戦は、青森・鯉ヶ沢中に2対1で勝利し、ベスト16となりました。

ベスト16は、平成15年の福島大会以来12年ぶりの立派な成績です。

頑張った選手と指導者を称えるとともに、更なる飛躍を期待しています。



▲全国中学校相撲選手権大会で優秀な成績を収めた3名
佐藤正成君（左）、菊池虎之介君（中）、坂口颯君（右）